

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和2年 6月29日	
愛知県知事 殿	東京都中央区日本橋二丁目5番1号 株式会社 JERA 代表取締役社長 小野田 聡 提出者 愛知県碧南市港南町二丁目8番2 株式会社 JERA 住 所 O&M・エンジニアリング本部 氏 名 碧南火力発電所長 石井 和哉 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0566-48-8561
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 J E R A 碧南火力発電所
事業場の所在地	愛知県碧南市港南町二丁目8番2
計画期間	令和2年 4月 1日～令和3年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	33：電気業
②事業の規模	送電端電力量 24,392,514 (MWh)
③従業員数	257人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

<O&M・エンジニアリング本部>

O&M・エンジニアリング計画部 設備運用管理ユニット

<碧南火力発電所>

所長（産業廃棄物総括責任者）

副所長（産業廃棄物処理責任者）

業務課長

発電課長

発電課副長
(技術管理者)

電気課長

機械課長

関係会社

発電所

発電所

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和元年度）実績】

産業廃棄物の種類	ばいじん (フライアッシュ)	燃え殻 (クリンカ)	その他 ※
排 出 量	588, 116. 800 t	99, 588. 650 t	111, 455. 810 t

※その他の内訳は、添付資料のとおりである。
(これまでに実施した取組)

当発電所から発生する廃棄物は、石炭灰（ばいじん、燃え殻）が大半を占めており、発生量は発電所の発電利用率および石炭成分中の灰分量により大きく変動することから、排出抑制することは困難であるが、石炭灰の有価販売を促進し、産業廃棄物としての石炭灰の発生量削減を目指した。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ばいじん (フライアッシュ)	燃え殻 (クリンカ)	その他 ※
排 出 量	669, 000 t	130, 000 t	111, 619 t

※その他の内訳は、添付資料のとおりである。
(今後実施する予定の取組)

産業廃棄物（石炭灰）の発生量は、発電所の発電利用率および石炭成分中の灰分量により大きく変動することから、排出抑制することは困難であるが、石炭灰の有価販売を促進し、産業廃棄物としての石炭灰の発生量削減を目指す。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

分別が困難な廃棄物の排出はなく、すべての廃棄物について、種類ごとに分別した。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

令和2年度も引き続き、すべての廃棄物について分別が出来るよう取り組む。当社にて分別ができない混合廃棄物が発生した場合は、全量を選別および再利用可能な処理業者に委託する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん (フライアッシュ)	燃え殻 (クリンカ)
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	1, 652. 580 t	7, 403. 08 t
	(これまでに実施した取組) ばいじんおよび燃え殻は、他火力において再生利用している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥 (排水無機性汚泥)	汚泥 (排水有機性汚泥)
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	51, 523. 770 t	5, 580. 380 t
	(これまでに実施した取組) 汚泥は、自社で中間処理（脱水）しており、8 6 %程度減量している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥 (排水無機性汚泥)	汚泥 (排水有機性汚泥)
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	55, 000 t	6, 066 t
	(今後実施する予定の取組) 令和2年度も引き続き、自社で8 6 %程度の減量を目指す。		

(第4面)

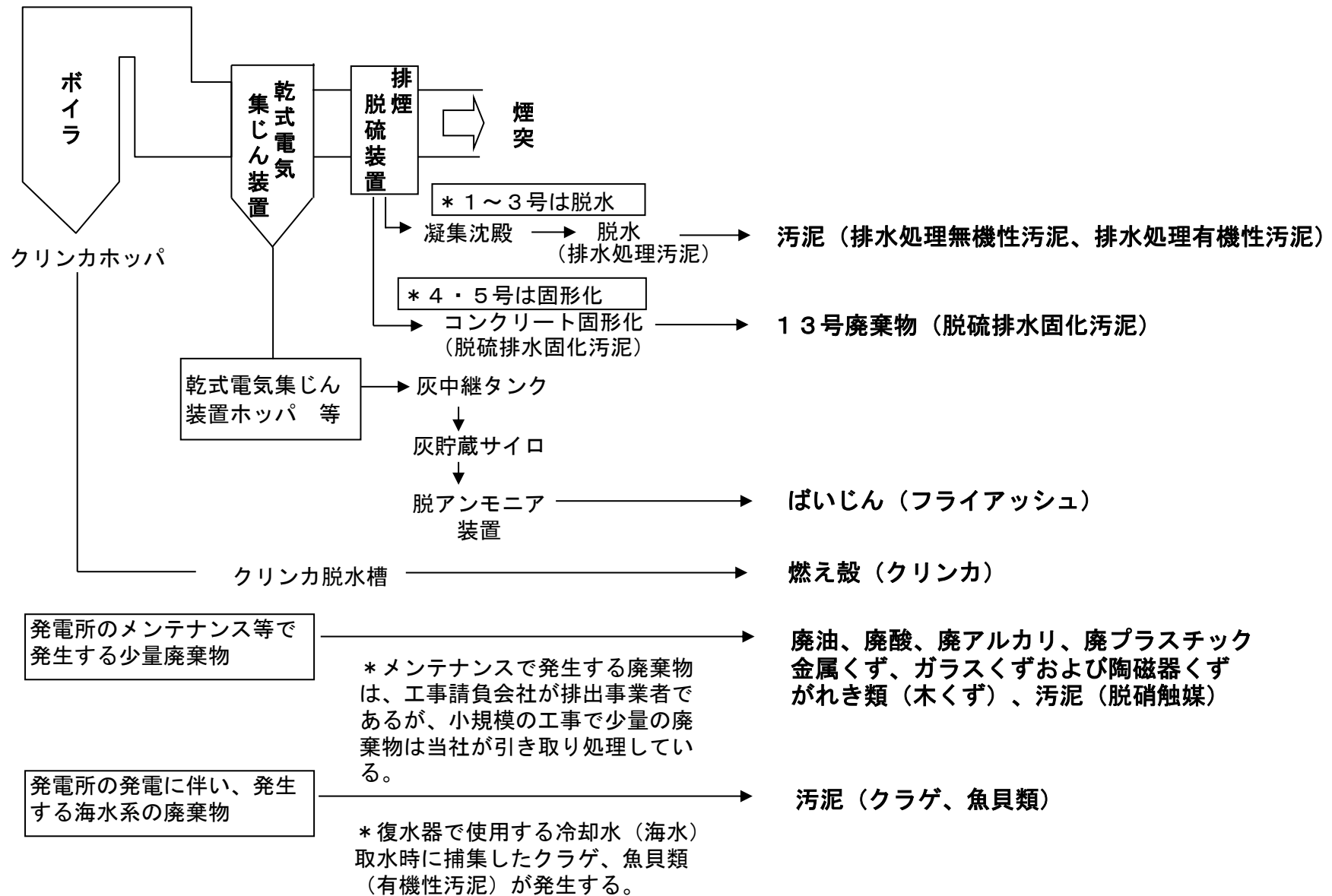
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	ばいじん (フライアッシュ)	燃え殻 (クリンカ)	その他 ※
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.00 t	3,895.510 t	29,506.420 t
	※その他の内訳は、添付資料のとおりである。 (これまでに実施した取組) 発生した石炭灰（ばいじん、燃え殻）は、有価販売、再生利用（セメント原料）を行い、残りを自社構内および処理委託で最終処分している。 石炭灰（ばいじん、燃え殻）の有価販売の促進およびセメント原料としての利用促進により、最終処分量の削減を目指した。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	ばいじん (フライアッシュ)	燃え殻 (クリンカ)	その他 ※
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	26,000 t	64,000 t	20,200 t
	※その他の内訳は、添付資料のとおりである。 (今後実施する予定の取組) 石炭灰（ばいじん、燃え殻）の、有価販売およびセメント原料としての利用を促進し、最終処分量を削減する。 その他廃棄物は、再生利用できる委託先との契約を推進する。			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	ばいじん (フライアッシュ)	燃え殻 (クリンカ)	その他 ※
	全 処 理 委 託 量	586,464.220 t	88,290.060 t	24,845.240 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	78,397.980 t	34,277.980 t	24,835.620 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	580,115.240 t	81,604.620 t	3,263.350 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	0.000 t	188.650 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	0.000 t	485.250 t
	※その他の内訳は、添付資料のとおりである。 (これまでに実施した取組) 石炭灰（ばいじん、燃え殻）の有価販売およびセメント原料としての利用促進により、産業廃棄物としての石炭灰の量を削減した。 その他廃棄物は、再生利用できる委託先との契約を推進した。			

(第5面)

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	ばいじん (フライアッシュ)	燃え殻 (クリンカ)	その他 ※
	全 処 理 委 託 量	643,000 t	66,000 t	34,739 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	84,400 t	30,480 t	34,729 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	643,000 t	66,000 t	4,683 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	188 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	486 t
	※その他の内訳は、添付資料のとおりである。 (今後実施する予定の取組) 令和2年度も引き続き、再生利用できる委託先との契約を推進する。			
	※事務処理欄			

碧南火力発電所 産業廃棄物発生フロー図

別紙



○産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

令和元年度実績 その他の内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水無機性汚泥)	67,321.390
汚泥(排水有機性汚泥)	6,065.630
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	37,718.030
金属くず(撤去機材等)	107.560
廃油(潤滑油等)	51.970
汚泥(魚貝類)	128.900
廃プラスチック(イオン交換樹脂等)	15.510
ガラスくず(蛍光灯等)	3.370
木くず(廃木材)	43.450
合 計	111,455.810

令和2年度計画 その他の内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水無機性汚泥)	63,100
汚泥(排水有機性汚泥)	6,066
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	42,100
金属くず(撤去機材等)	108
廃油(潤滑油等)	52
汚泥(魚貝類)	129
廃プラスチック(イオン交換樹脂等)	16
ガラスくず(蛍光灯等)	4
木くず(廃木材)	44
合 計	111,619

○自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

令和元年度実績 その他の内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水無機性汚泥)	13,313.390
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	16,193.030
合 計	29,506.420

令和2年度計画 その他の内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水無機性汚泥)	8,100
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	12,100
合 計	20,200

○産業廃棄物の処理の委託に関する事項

令和元年度実績 その他の処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水無機性汚泥)	2,484.230
汚泥(排水有機性汚泥)	485.250
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	21,525.000
金属くず(撤去機材等)	107.560
廃油(潤滑油等)	51.970
汚泥(魚貝類)	128.900
廃プラスチック(イオン交換樹脂等)	15.510
ガラスくず(蛍光灯等)	3.370
木くず(廃木材)	43.450
合 計	24,845.240

令和2年度計画 その他の処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水無機性汚泥)	3,900
汚泥(排水有機性汚泥)	486
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	30,000
金属くず(撤去機材等)	108
廃油(潤滑油等)	52
汚泥(魚貝類)	129
廃プラスチック(イオン交換樹脂等)	16
ガラスくず(蛍光灯等)	4
木くず(廃木材)	44
合 計	34,739

令和元年度実績 その他の優良認定処理業者への
処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水無機性汚泥)	2,484.230
汚泥(排水有機性汚泥)	485.250
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	21,525.000
金属くず(撤去機材等)	97.940
廃油(潤滑油等)	51.970
汚泥(魚貝類)	128.900
廃プラスチック(イオン交換樹脂等)	15.510
ガラスくず(蛍光灯等)	3.370
木くず(廃木材)	43.450
合 計	24,835.620

令和2年度計画 その他の優良認定処理業者への
処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水無機性汚泥)	3,900
汚泥(排水有機性汚泥)	486
13号廃棄物(脱硫排水固化汚泥)	30,000
金属くず(撤去機材等)	98
廃油(潤滑油等)	52
汚泥(魚貝類)	129
廃プラスチック(イオン交換樹脂等)	16
ガラスくず(蛍光灯等)	4
木くず(廃木材)	44
合 計	34,729

令和元年度実績 その他の再生利用理業者への
処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水無機性汚泥)	2,484.230
汚泥(排水有機性汚泥)	485.250
金属くず(撤去機材等)	107.560
廃油(潤滑油等)	0.000
汚泥(魚貝類)	128.900
廃プラスチック(イオン交換樹脂等)	10.590
ガラスくず(蛍光灯等)	3.370
木くず(廃木材)	43.450
合 計	3,263.350

令和2年度計画 その他の再生利用理業者への
処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水無機性汚泥)	3,900
汚泥(排水有機性汚泥)	486
金属くず(撤去機材等)	108
廃油(潤滑油等)	1
汚泥(魚貝類)	129
廃プラスチック(イオン交換樹脂等)	11
ガラスくず(蛍光灯等)	4
木くず(廃木材)	44
合 計	4,683

令和元年度実績 認定熱回収業者への
処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
廃油(潤滑油等)	51.970
汚泥(魚貝類)	128.900
廃プラスチック(イオン交換樹脂等)	7.780
合 計	188.650

令和2年度計画 認定熱回収業者への
処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
廃油(潤滑油等)	51
汚泥(魚貝類)	129
廃プラスチック(イオン交換樹脂等)	8
合 計	188

令和元年度実績 その他の認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水有機性汚泥)	485.250
合 計	485.250

令和2年度計画 その他の認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への処理委託量内訳 単位:t

産業廃棄物の種類	排出量
汚泥(排水有機性汚泥)	486
合 計	486

以 上